

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2005-214414(P2005-214414A)

【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2005-12429(P2005-12429)

【国際特許分類】

F 16 L 37/38 (2006.01)

F 17 C 13/00 (2006.01)

F 16 L 37/23 (2006.01)

【F I】

F 16 L 37/28 E

F 17 C 13/00 301C

F 16 L 37/22 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、迅速連結の雌部材に関する。本発明は、加圧下の液体を搬送する管を取り外し可能に連結する迅速連結部及び加圧下のガスを自動車に充填するこのような雌部材を有する装置にも関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

雄部材Bの本体101の外形は、軸線X_B-X_Bを中心にしてほぼシリンダ状で円形である。部材A, Bが連結構造にある場合、この軸線X_B-X_Bは、軸線X_A-X_Aに一致する。部材Aと部材Bとを連結構造でロックする目的で、本体101は、加圧下のガスを流す導管111を形成しつつ玉6を収容するための溝116を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

部材Aと部材Bとを互いに挿入する必要がある場合、これらの部材A, Bは、図1中の矢印Fによって示されたように移動される。このことは、図2の構造に到達することを可能にする。この場合、ヘッド26aが、導管111の端部111a方向に突出する。この構成では、ベベル26bが、Oリング102を支持してこのOリング102上に応力F₂を及ぼす。Oリング102の剛性がばね3の剛性よりも大きいために、このOリング102は、ベベル26b上に反作用F₂を及ぼす。この反作用F₂は、応力F₃に逆らつ

てバルブ 2 を押すことを可能にする。この場合のバルブ 2 は、図 2 の位置に到達させる。この位置では、矢印 E によって示したように、流路 2 4 , 2 3 が、加圧下のガスを導管 1 1 の上流部分から導管 1 1 1 に向けて流すことを可能にする。